

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

Company Report

2026 年 9 月 28 日

株式会社ストラテジー・アドバイザーズ
伊藤 研一



規模追求型企业へのスタンス変更に注目

8 月 14 日に開示されたユナイテッドグロウ(以下、同社)の 26/12 期 Q2(4-6 月)決算は、売上高 10.7 億円(前年同期比 25.1%増)、営業利益 1.6 億円(前年同期比 20.6%増)で、売上高は四半期として過去最高を更新した。1 時間あたりの平均稼働単価は、価格改定とシェアード社員のスキル向上により、10,550 円(同 18.4%増)へと 2 桁の伸びを実現したほか、シェアード社員数が 293 名(同 20 名増)と拡大し、人件費増などのコストを十分に吸収して大幅増益の好決算だった。

利益面では、新卒社員の入社時期に伴う稼働率の低下を主因に、Q1 対比では減益となったものの、想定範囲内。Q2 の稼働率は 65.2%と適正範囲での推移となった。一方で、今年度は、採用がやや遅れており、人材の確保が最大の経営課題となっている。Q2 のシェアード社員数は 293 名で、Q1 対比で 17 名増加した。同社は通年で 60 名程度の採用を予定しており、下期以降、一段と積極的に採用を行っていくことが期待される。

同社は、「自然体型の高成長企業」から、「規模追求型企业」へスタンスを変更し、一段と高成長を実現する方針を明確にした。中堅・中小企業をメインターゲットとして IT サービスを提供している企業は少なく、口コミや WEB 集客を中心としたインバウンドのみで新規顧客が獲得できていることを踏まえると、トップラインの成長率を上げる余地は大きいと言える。今年度予定している大型のブランディング投資による採用力強化に加えて、大阪や名古屋、福岡といった地方大都市の拠点開設による事業拡大や、既存顧客に対する特化型サービスのクロスセルによる垂直展開によって、一段と成長率を高められるかが注目ポイントと言える。

同社の株価は、上場来概ねボックス圏内の推移となっており、利益成長とともにバリュエーションが切り下がっている。今期会社計画に基づく PER は 11 倍程度まで低下しており、15~20 倍前後で評価されている IT コンサルティング会社と比較すると、割安である。完成されたビジネスモデルを武器に、既存事業の成長を加速させ、株主還元を強化し、業界最高水準の ROE を実現する企業へと飛躍することに期待したい。

株価・出来高 (過去 1 年間)



出所：ストラテジー・アドバイザーズ

主要指標

株価 (26/9/28)	690
年初来高値 (26/1/7)	721
年初来安値 (26/3/19)	617
52週高値 (25/11/27)	770
52週安値 (26/3/19)	617
発行済株式数 (百万株)	7.9
時価総額 (十億円)	5.5
EV (十億円)	2.2
自己資本比率 (26/6実績、%)	67.2
PER (26/12会予、倍)	11.2
PBR (26/6実績、倍)	2.4
配当利回り (26/12会予、%)	2.3

出所：ストラテジー・アドバイザーズ

日本基準-単体 決算期	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	当期利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	DPS (円)
25/12 Q2	857	19.6	137	111.7	138	71.9	103	-35.3	13.1	-
26/12 Q2	1,072	25.1	165	20.6	167	21.0	127	23.4	16.1	-
23/12 (連)	2,667	14.2	392	20.9	392	21.0	305	28.2	39.1	11.0
24/12	2,967	-	395	-	411	-	384	-	48.9	12.0
25/12	3,514	18.5	560	41.7	561	36.4	410	6.9	52.1	28.0
26/12 会社予想	4,114	17.1	652	16.4	659	17.4	485	18.2	61.4	16.0

注 1：23/12 期まで連結決算、24/12 期以降は非連結決算、注 2：2025/7/1 に 1:2 の株式分割を実施。EPS および DPS は株式分割を考慮した数値。25/12 期に 30 円の特別配当を実施。出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

単価上昇と社員数拡大で四半期過去最高売上を更新

定着率改善とブランディング投資で中期の採用力強化へ

1. 26/12 期 Q2 決算は価格改定の浸透による劇的な増収増益

8月14日に開示されたユナイテッドグロウ(以下、同社)の26/12期Q2(4-6月)決算は、売上高10.7億円(前年同期比25.1%増)、営業利益1.6億円(前年同期比20.6%増)。売上高は四半期として過去最高を更新した。最重要KPIである1時間あたりの平均稼働単価は、価格改定とシェアード社員のスキル向上により、10,550円(同18.4%増)へ2桁の伸びを実現したほか、シェアード社員数が293名(同20名増)と拡大し、人件費増などのコストを十分に吸収して、大幅増益の好決算となった。

利益面は、新卒社員の入社時期に伴う稼働率の低下を主因に、Q1対比では減益となったものの、想定範囲内。Q2の稼働率は65.2%で適正範囲での推移だった。一方で、今年度は、採用がやや遅れており、人材の確保が最大の経営課題となっている。Q2のシェアード社員数は293名となり、Q1対比で17名増加した。同社は、通年で60名程度の採用を予定しているが、下期以降、一段と積極的に採用を行っていくことが期待される。

なお、同社は、事業規模が拡大しても、安定的に12%程度人的リソースを拡大させられるように、採用強化及び定着率の改善を図っていく方針。同社の場合、SIや開発会社と異なり、ITスキルの有無以上に、顧客の経営層と良好な関係を維持しながら、中小中堅企業の課題を把握し、主体的に働くことが出来る人材を確保することが求められる。

Q2の定着率は90.5%となっており、こちらも改善余地があろう。定年退職まで働きたいと社員に思われる会社になるために、さらなる処遇改善やキャリアパスの設計を進めることで、働き甲斐のある会社へと飛躍することが不可欠だろう。なお、同社は、採用力を一段と高めるべく、会社のブランディング投資を積極的に行っていく方針。年末から来年にかけて仕込んでいる施策が実行される見込みであり、来期以降の採用力強化が期待される。

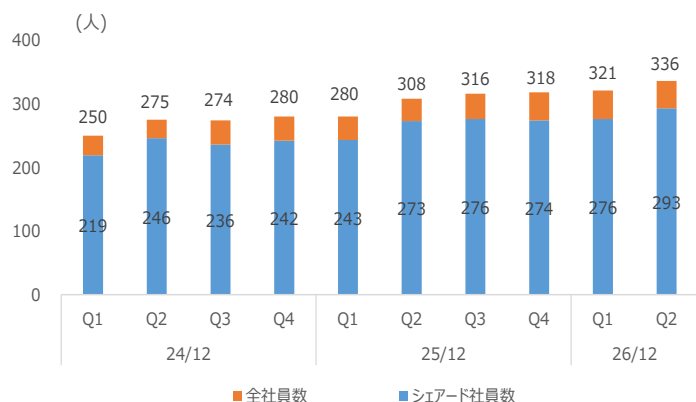
図表 1. 四半期業績推移 (百万円)

決算期	25/12				26/12	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高合計	770	857	921	965	996	1,072
(前年同期比)	-	19.6%	22.2%	19.4%	29.3%	25.1%
情シス総合	687	771	830	881	843	905
(前年同期比)	5.0%	13.4%	16.4%	16.4%	22.7%	17.4%
内製開発	54	50	52	50	50	55
(前年同期比)	63.6%	38.9%	23.8%	-2.0%	-7.4%	10.0%
ITインフラ	28	35	37	34	52	58
(前年同期比)	-	-	-	-	85.7%	65.7%
会計IT					49	54
(前年同期比)					-	-
売上総利益	361	396	450	433	519	493
(売上総利益率)	47.0%	46.2%	48.9%	44.9%	52.1%	46.0%
販売費及び一般管理費	235	258	275	312	302	327
営業利益	125	137	175	121	216	165
(前年同期比)	-	111.7%	38.8%	2.9%	72.2%	20.6%
(売上高営業利益率)	16.4%	16.0%	19.0%	12.6%	21.8%	15.5%
営業外損益	0	0	0	0	0	1

出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

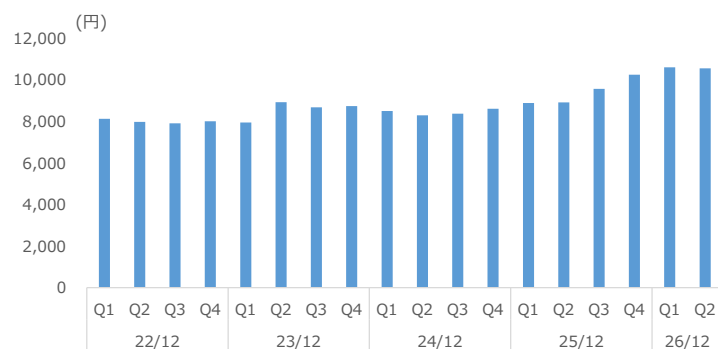
ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 2. シェアード社員数の推移 (人)



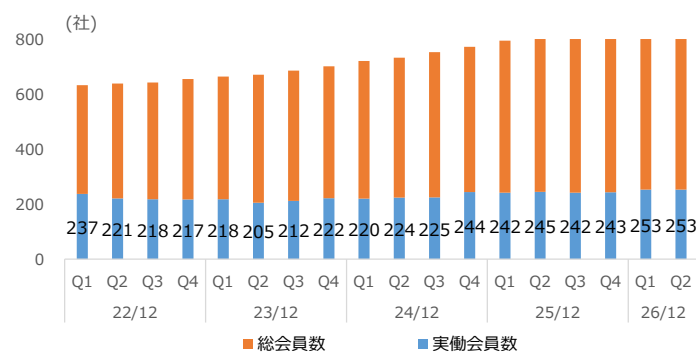
出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 3. シェアード社員の稼働 1 時間あたり売上高 (円)



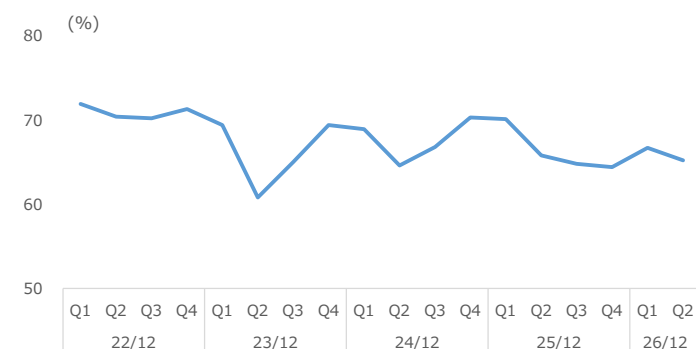
出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 4. シェアリング企業数の推移 (社)



出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 5. 稼働率の推移 (%)



出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

3. 株価はボックス圏での推移が継続しており、大きな変化に期待

PER 割安感と「規模追求型」転換による株価再評価に期待

同社の株価は、上場来、概ねボックス圏内の推移となっており、利益成長とともにバリュエーションが切り下がっている。今期会社計画に基づく PER は 11 倍程度まで低下しており、15～20 倍前後で評価されている IT コンサルティング会社と比較すると、割安な水準と言える。

ストラテジー・アドバイザーズでは、同社の株価がボックス圏での推移となっている理由として、1) 創業者である須田氏の持分が高く、市場で売買される株が少ないことから、出来高が少ないこと、2) 安定成長しているものの、上場来、成長加速を感じさせる変化を示せていないこと、3) 自己資本比率が 60%を超えているにもかかわらず、配当性向は 30%と低いこと、の 3 点が要因とみている。

差別化されたビジネスモデルと、競合他社が参入してこない中堅・中小向けの市場で、高い収益性を確保している点は高く評価できよう。この強みを確固たるものにするためには、他社の追随を許さない水準まで事業規模を拡大させることで、スケールメリットを享受することが重要だ。今回の決算で、「規模追求型企業」へのスタンス変更が示された点は大きな変化であり、15%以上の成長を実現できるモデルへと転換していくことに期待される。

値上げ浸透と連続増収増益が支える相対的な株価の堅調さ

IT コンサルティング大手のペイカレント(6532、東証プライム)は、今年度もコンサルタント数が 25%増加する見通しとなっている。売上総利益率は、概ね同水準であるが、20 倍の事業規模であるペイカレントがこの水準で伸びていることを踏まえると、同社の成長加速余地は大きいだろう。

なお、相対株価は各社とも軟調な推移となっており、過去 1 年間の騰落率は大半がマイナスとなっている。2025 年下期以降、10 年債金利が急上昇し、バリュエーションが比較的高い IT サービス企業の株価が軟調な推移となっていることに加えて、生成 AI の台頭によって、コンサルティング需要の低下が危惧されていることなどが背景にある。

同社の株価は、相対比較では堅調な推移となっている。特に、2025 年以降、前年同期比で毎期増収増益を継続しており、値上げに伴う顧客離れの影響もほとんどなく、収益性が改善していることが奏功していると言えよう。

株主還元強化とインセンティブ拡充による高 ROE 化への期待

ストラテジー・アドバイザーズでは、完成されたビジネスモデルを武器に、既存事業の成長を加速させる次なる一手を打つと同時に、株主還元を強化し、業界最高水準の ROE を実現する企業へと飛躍することが同社のエクイティストーリーと考える。大手 IT コンサルティング企業に比肩する高収益なビジネスモデルであることに加えて、前払いポイント制によって他社よりもキャッシュフローが良いビジネスモデルであることを踏まえると、事業拡大に加えて、株主還元強化による ROE 改善余地は大きいと言える。

同社は、中堅・中小企業支援で、日本ナンバーワンの会社を目指している。業界特化型サービスの拡充や地方拠点の拡充、採用力強化による人的リソースの強化によって、既存事業の成長を一段と加速させることが重要だ。また、今後は、株主還元の強化に加えて、株式を活用したインセンティブ設計の充実にも注目したい。同社は、9 月 14 日に役員持株会の設立を発表した。利益成長に合わせて、株主還元を積極的に行い、株主に対する還元を強化すると同時に、従業員がオーナーシップを持って取り組める制度設計を充実させることで、定着率の改善や採用力の強化に繋がることが期待される。

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 7. バリュエーション一覧

証券コード	企業名	決算期	株価 (9/28) (円)	時価総額 (9/28) (百万円)	PER 会社予想 (倍)	PBR 直近実績 (倍)	ROE 会社予想 (%)	企業価値 /EBITDA 直近実績 (倍)	配当 利回り 会社予想 (%)	株主資本 比率 直近実績 (%)	ネットD/E レシオ 直近実績 (倍)	株価過去 1年比 (%)	株価過去 3年比 (%)
4486	ユナイテッドグロウ	25/12期	690	5,464	11.2	2.4	21.7	3.8	2.3	64.5	0.0	-9.9	36.4
6532	ベイカレント	26/2期	7,634	1,104,694	23.6	9.4	41.1	19.4	1.7	74.3	0.1	-13.8	54.7
9168	ライズ・コンサルティング・グループ	26/2期	427	10,233	15.7	1.4	9.2	5.0	4.9	75.7	0.2	-57.8	-
446A	ノースサンド	26/1期	2,332	160,908	23.6	9.8	41.5	25.8	1.5	75.3	0.0	-	-
6088	シグマクス・ホールディングス	26/3期	585	47,475	10.7	3.3	31.3	6.7	4.4	83.6	0.0	-37.2	-24.0
9757	船井総研ホールディングス	25/12期	1,186	108,132	16.5	4.2	25.4	9.9	4.0	74.7	0.0	-9.3	-9.0
9644	タナベコンサルティンググループ	25/3期	762	24,419	21.2	2.3	10.9	8.8	3.8	69.6	0.1	3.0	35.0
4434	サーバーワークス	26/2期	2,430	18,083	20.6	1.9	9.3	8.0	1.2	48.1	0.1	19.8	-38.0

出所：会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

図表 8. 相対株価推移



注1：2023年9月29日終値を100として算出

注2：ノースサンドは2025年11月21日の終値をそれぞれ100として算出

出所：ストラテジー・アドバイザーズ

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 9. 四半期セグメント別損益計算書 (単位 : 百万円)

決算期	23/12				24/12				25/12				26/12	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高合計 (前年同期比)	571	650	701	744	687	716	754	808	770	857	921	965	996	1,072
情シス総合 (前年同期比)	1.1%	12.5%	18.3%	24.3%	20.5%	-	-	-	-	19.6%	22.2%	19.4%	29.3%	25.1%
内製開発 (前年同期比)					654	680	713	757	687	771	830	881	843	905
ITインフラ (前年同期比)					-	-	-	-	5.0%	13.4%	16.4%	16.4%	22.7%	17.4%
会計IT (前年同期比)					33	36	42	51	54	50	52	50	50	55
コーポレートIT総合支援 (前年同期比)					-	-	-	-	63.6%	38.9%	23.8%	-2.0%	-7.4%	10.0%
コーポレートIT内製開発支援 (前年同期比)									28	35	37	34	52	58
キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング (前年同期比)									-	-	-	-	85.7%	65.7%
売上総利益 (売上総利益率)	272	315	347	370	336	321	348	372	361	396	450	433	519	493
販売費及び一般管理費	205	237	239	231	250	256	222	254	235	258	275	312	302	327
営業利益 (前年同期比)	66	77	107	139	85	65	126	118	125	137	175	121	216	165
(売上高営業利益率)	-26.0%	-15.0%	8.4%	226.6%	28.8%	-	-	-	-	111.7%	38.8%	2.9%	72.2%	20.6%
営業外損益	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	0	1
経常利益 (前年同期比)	66	78	107	139	86	80	126	118	126	138	174	122	217	167
(売上高経常利益率)	-26.2%	-15.0%	8.6%	227.1%	29.9%	-	-	-	-	71.9%	38.5%	3.2%	71.6%	21.0%
特別損益	0	0	0	29	0	96	0	0	0	0	0	0	0	0
税金等調整前当期純利益	66	78	107	168	86	177	126	118	126	138	174	122	217	167
法人税等	18	19	29	47	22	17	45	38	35	34	44	35	61	39
当期純利益 (前年同期比)	48	58	77	120	64	159	80	79	91	103	130	86	156	127
	-26.7%	-14.1%	5.9%	293.6%	32.4%	-	-	-	-	-35.3%	61.4%	8.0%	71.3%	23.4%

注 : 24/12 期 Q1 まで連結決算、Q2 からは非連結決算

出所 : 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 10. 損益計算書 (単位 : 百万円)

決算期	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12	24/12	25/12	26/12 会計
売上高	1,388	1,624	1,732	2,075	2,335	2,667	2,967	3,514	4,114
(前期比)	-	17.0%	6.7%	19.8%	12.5%	14.2%	-	18.5%	17.1%
情シス総合							2,804	3,171	3,461
(前期比)							-	13.1%	9.2%
内製開発							162	207	252
(前期比)							-	27.9%	21.8%
ITインフラ							-	135	208
(前期比)							-	-	53.9%
会計IT							-	-	190
(前期比)							-	-	-
コーポレートIT総合支援						2,407	2,804		
(前年同期比)						-	-		
コーポレートIT内製開発支援						123	162		
(前年同期比)						-	-		
キャッシュレスセキュリティ・コンサルティング						137	-		
(前年同期比)						-	-		
インソーシング事業	1,181	1,412	1,598	1,918	2,168				
(前年同期比)	19.2%	19.6%	13.2%	20.0%	13.0%				
セキュリティ事業	207	211	134	156	166				
(前年同期比)	12.5%	1.9%	-36.5%	16.4%	6.4%				
売上総利益	610	762	804	1,014	1,119	1,305	1,379	1,641	2,033
(売上総利益率)	44.0%	46.9%	46.5%	48.9%	47.9%	48.9%	46.5%	46.7%	49.4%
販売費及び一般管理費	439	556	588	724	795	913	983	1,081	1,381
営業利益	171	205	216	289	324	392	395	560	652
(前期比)	-	20.1%	5.5%	33.5%	12.0%	20.9%	-	41.7%	16.4%
(営業利益率)	12.3%	12.7%	12.5%	13.9%	13.9%	14.7%	13.3%	15.9%	15.9%
営業外収益	5	0	0	5	0	0	17	3	
営業外費用	0	14	0	0	0	0	0	2	
経常利益	176	191	216	294	324	392	411	561	659
(前期比)	-	8.5%	13.4%	35.7%	10.1%	21.0%	-	36.4%	17.4%
(売上高経常利益率)	12.7%	11.8%	12.5%	14.2%	13.9%	14.7%	13.9%	16.0%	16.0%
特別利益	0	0	0	3	0	29	96	0	
特別損失	0	0	0	8	0	0	0	0	
税金等調整前当期純利益	176	191	216	288	324	421	508	561	
(前期比)	-	8.5%	13.4%	33.2%	12.2%	29.9%	-	10.5%	
(売上高税引前利益率)	12.7%	11.8%	12.5%	13.9%	13.9%	15.8%	17.1%	16.0%	
法人税等	52	57	57	90	85	115	123	150	
(実効税率)	30.0%	30.0%	26.6%	31.3%	26.4%	27.4%	24.4%	26.8%	
当期純利益	123	133	159	198	238	305	384	410	485
(前期比)	-	8.6%	18.9%	24.5%	20.2%	28.2%	-	6.9%	18.2%

注 : 23/12 期まで連結決算、24/12 期以降は非連結決算

出所 : 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 11. 主要財務指標

決算期		21/12	22/12	23/12	24/12	25/12	26/12会計
EPS	円	26.9	31.2	39.1	48.9	52.1	61.4
BPS	円	186	205	235	259	283	
DPS	円	6.00	8.00	11.00	12.00	28.00	16.00
配当性向	%	23.6%	26.2%	30.8%	24.5%	53.8%	26.0%
終値 (分割調整後)	円	852	622	562	525	706	
PER	倍	32.0	20.4	14.4	10.8	13.6	
PBR	倍	4.6	3.0	2.4	2.0	2.5	
期末発行済株式数	千株	3,717	3,937	3,951	3,974	7,963	
自己株式数	千株	0	28	28	28	56	
自社株控除株式数	千株	3,717	3,909	3,923	3,946	7,907	
時価総額 (自己株数調整後)	百万円	6,330	4,862	4,409	4,139	5,582	
株主資本比率	%	65.4%	67.6%	70.7%	66.3%	64.5%	
有利子負債残高	百万円	11	58	6	3	3	
D/Eレシオ	倍	0.01	0.04	0.00	0.00	0.00	
企業価値	百万円	4,426	2,784	2,148	1,441	2,477	
EBITDA	百万円	309	338	411	442	616	
企業価値/EBIDA倍率	倍	14.3	8.2	5.2	3.3	4.0	
ROE	%	15.4%	16.0%	17.8%	20.3%	19.2%	
ROIC (投下資本)	%	15.2%	15.6%	15.8%	13.9%	19.1%	
従業員数	人	194	209	244	275	307	

注 1 : 23/12 期まで連結決算、24/12 期以降は非連結決算

注 2 : 25/12 期に 1:2 の株式分割を実施し、EPS、BPS および DPS はその影響を考慮した数値

注 3 : 25/12 期 Q2 末に記念配当を実施 (創業 20 周年記念配当 : 30 円/株)

出所 : 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 12. 貸借対照表 (単位 : 百万円)

決算期	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12	24/12	25/12
現金・預金	654	1,394	1,566	1,914	2,136	2,267	2,701	3,108
売掛金	11	14	13	14	17	1	3	0
前払費用	0	0	0	0	0	0	26	36
その他流動資産	142	19	19	18	23	25	9	6
流動資産	815	1,433	1,598	1,946	2,176	2,293	2,739	3,150
建物・構築物	32	30	74	69	64	63	64	58
工具・器具・備品	0	0	0	0	0	0	15	9
その他有形固定資産	2	6	19	17	14	11	3	3
有形固定資産	34	36	93	86	78	74	82	70
ソフトウェア	23	26	19	11	7	175	158	117
その他無形固定資産	10	4	0	0	39	2	2	1
無形固定資産	33	30	19	11	46	177	160	118
投資有価証券	0	0	0	0	0	0	10	25
その他投資資産	33	31	59	64	65	67	86	111
投資その他の資産	33	31	59	64	65	67	96	136
固定資産合計	102	98	172	162	190	319	339	324
資産合計	918	1,532	1,770	2,109	2,366	2,612	3,079	3,475
買掛金	7	7	7	7	7	5	5	4
未払金	83	99	131	129	135	118	197	233
契約負債	0	0	0	0	412	438	571	700
その流動負債	310	364	421	573	187	174	230	284
流動負債	400	470	559	709	741	735	1,003	1,221
リース債務	0	0	0	0	0	0	1	1
資産除去債務	7	7	12	12	12	12	12	12
その他固定負債	19	11	9	8	13	18	21	0
固定負債	26	18	21	20	25	30	34	13
負債合計	426	489	580	729	767	765	1,037	1,235
資本金	100	304	305	311	344	346	348	349
資本準備金	0	0	0	0	0	0	308	309
資本剰余金	68	283	284	290	323	325	327	328
利益剰余金	333	455	600	777	970	1,213	1,405	1,601
自己株式	-10	0	0	0	-38	-39	-39	-39
株主資本	491	1,043	1,189	1,379	1,599	1,846	2,041	2,240
純資産合計	491	1,043	1,189	1,379	1,599	1,846	2,041	2,240
負債純資産合計	918	1,532	1,770	2,109	2,366	2,612	3,079	3,475

注 : 23/12 期まで連結決算、24/12 期以降は非連結決算

出所 : 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ユナイテッドグロウ | 4486 (東証グロース)

図表 13. キャッシュフロー表 (単位: 百万円)

決算期	18/12	19/12	20/12	21/12	22/12	23/12	24/12	25/12
税金等調整前当期純利益	176	191	216	288	324	421	508	561
減価償却費	12	15	19	19	14	18	47	55
未払金の増減額 (△は減少)	-12	17	-21	60	5	-15	42	75
契約負債の増減額 (△は減少)	0	0	0	0	412	26	132	129
法人税等の支払額	-63	-53	-55	-57	-116	-82	-108	-166
その他営業キャッシュフロー	35	91	76	122	-426	6	-55	25
営業活動によるキャッシュフロー	148	261	235	432	213	374	566	679
定期預金の預入による支出	-30	-180	-180	-330	-780	-1,095	-1,230	-1,430
定期預金の払戻による収入	30	30	180	330	330	1,095	1,230	1,230
有形固定資産の取得による支出	0	-2	0	-52	-1	-6	0	-17
無形固定資産の取得による支出	-12	-11	-9	-13	-38	-141	-2	-18
投資有価証券の取得による支出	0	0	0	0	0	0	-10	-17
その他投資キャッシュフロー	-1	-1	-29	-1	0	29	0	-6
投資活動によるキャッシュフロー	-13	-164	-38	-66	-489	-118	-12	-258
新株予約権の行使による株式の発行による収入	0	0	1	13	65	4	3	2
配当金の支払額	-6	-11	-14	-21	-44	-62	-86	-214
その他財務キャッシュフロー	25	403	-11	-10	8	-53	-3	-1
財務活動によるキャッシュフロー	19	392	-24	-18	29	-111	-86	-213
フリーキャッシュフロー	135	96	197	366	-276	255	554	421

注: 23/12 期まで連結決算、24/12 期以降は非連結決算

出所: 会社資料よりストラテジー・アドバイザーズ作成

ディスクレーマー

本レポートは、株式会社ストラテジー・アドバイザーズ(以下、発行者)が発行するレポートであり、外部の提携会社及びアナリストを主な執筆者として作成されたものです。

本レポートにおいては、対象となる企業について従来とは違ったアプローチによる紹介や解説を目的としております。発行者は原則、レポートに記載された内容に関してレビューならびに承認を行っておりません(しかし、明らかな誤りや適切ではない表現がある場合に限り、執筆者に対して指摘を行っております)。

発行者は、本レポートを発行するための企画提案およびインフラストラクチャーの提供に関して対価を直接的または間接的に対象企業より得ている場合があります。

執筆者となる外部の提携会社及びアナリストは、本レポートを作成する以外にも対象会社より直接的または間接的に対価を得ている場合があります。また、執筆者となる外部の提携会社及びアナリストは対象会社の有価証券に対して何らかの取引を行っている可能性あるいは将来行う可能性があります。

本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、有価証券取引及びその他の取引の勧誘を目的とするものではありません。有価証券およびその他の取引に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任で行ってください。

本レポートの作成に当たり、執筆者は対象企業への取材等を通じて情報提供を受けておりますが、当レポートに記載された仮説や見解は当該企業によるものではなく、執筆者による分析・評価によるものです。

本レポートは、執筆者が信頼できると判断した情報に基づき記載されたものですが、その正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における執筆者の判断であり、予告無しに変更されることがあります。

本レポートに記載された情報もしくは分析に、投資家が依拠した結果として被る可能性のある直接的、間接的、付随的もしくは特別な損害に対して、発行者ならびに執筆者が何ら責任を負うものではありません。

本レポートの著作権は、原則として発行者に帰属します。本レポートにおいて提供される情報に関して、発行者の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行うことは法律で禁じられております。



Strategy Advisors

〒104-0061 東京都中央区銀座一丁目 27 番 8 号セントラルビル 703 号